

栽培・防除日誌

生産者情報					圃場情報	
作物名	品種名	支店	生産者コード	生産者氏名	圃場合計面積	
ししとう	つばきグリーン				a	

作業工程					
作業名	計画	実施日	作業名	計画	実施日
定植日(早植え)	4月下旬 (本)	月 日	収穫開始日	6月中旬	月 日
定植日(遅植え)	5月下旬 (本)	月 日	収穫終了日	10月下旬	月 日

投入資材 (農薬を除く)					
施肥日	コード	施肥量	施肥日	コード	施肥量
月 日		kg	月 日		kg
月 日		kg	月 日		kg
月 日		kg	月 日		kg
月 日		kg	月 日		kg

投入資材 (農薬を除く)					
コード	資材名	コード	資材名	コード	資材名
01	自家堆肥	06	菜種粕	11	トミー液肥ゴールド
02	牛ちゃんパワー	07	CDUたまご化成S555	12	ポリコープ1号
03	どっ恋しょ	08	エコロングM (140日)	13	ポリコープ2号
04	苦土石灰	09	野菜追肥専用S646	14	ポリコープ3号
05	BM熔燐	10	尿素複合液肥2号	15	

殺菌剤名	倍率	最大散布量 (1a)	うどんこ病	斑点病	斑点細菌病	灰色かび病	使用時期 (収穫前)	使用回数	成分分類	施用記録			
										上段 散布日	下段 散布日	例 6/10	200ml
Zボルドー水和剤	500	30	ℓ		●		発病前～発病初期	—	A	1回	2回	3回	4回
ラリー水和剤	4,000～6,000	30	ℓ	●	●		前日	4	K	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
カリグリーン	800	30	ℓ	●		●	前日	—	C	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
アフエットフロアブル	2000	30	ℓ	●	●	●	前日	3	J	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
ボトキラー水和剤	1000	30	ℓ	●		●	発病前～発病初期	—	生物	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
			ℓ										
			ℓ										

殺菌剤 成分分類
 A:銅剤 C:無機剤 F:有機リン系剤 H:ベンゾイミダゾール系剤 I:ジカルボキシイミド系剤 J:コハク酸脱水素酵素阻害剤(SDHI剤)
 K:ステロール生合成阻害剤(EBI剤) R:フェニルアミド系剤 S:QoI剤(ストロビルリン系剤) 生物:生物農薬

殺虫剤名	倍率	最大散布量 (1a)	対象病害虫								使用時期 (収穫前)	使用回数	成分分類	成分使用回数	施用記録				記入例 6/10 300g		
			アブラムシ類	ミナキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	オオタバコガ	ハダニ	アオムシ	ヨトウムシ	コナジラミ					ハスモンヨトウ	上段 散布日	下段 散布日	1回		2回	3回
アドマイヤー1粒剤	1～2g/株		●	●	●								定植時	1	g	1	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
アドマイヤー顆粒水和剤	5,000～10,000	30	ℓ	●									前日	2	g	2	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
アーデント水和剤	1,000	30	ℓ	●	●	●							前日	2	c	2	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
チェス顆粒水和剤	5,000	30	ℓ	●									前日	3	l	3	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
エスマルクDF	1,000	30	ℓ			●	●	●				発生初期 ただし 収-前日	—	f	—	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ		
アタプロン乳剤	2,000	30	ℓ	●	●					●			前日	3	e	3	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
アフーム乳剤	2,000	30	ℓ			●							7日	2	j	2	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
アカリタッチ乳剤	1,000～3,000	40	ℓ			●							前日	—	ダニ	—	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
ベネビアOD	2,000	30	ℓ	●	●	●					●		前日	3	i	3	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
	2,000～4,000	30	ℓ			●							前日	3	i	3	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
ジャックポット顆粒水和剤	1,000	30	ℓ			●	●	●				発生初期 ただし 収-前日	—	f	—	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ		
ゼンターリ顆粒水和剤	1,000	30	ℓ			●	●	●	●			発生初期 ただし 収-前日	—	f	—	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ		
			ℓ														ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
			ℓ														ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
			ℓ														ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	

殺虫剤 成分分類
 c:合成ピレスロイド剤 e:昆虫成長制御剤(IGR) f:BT剤 g:ネオニコチノイド剤 i:ジアミド系剤 j:マクロライド系剤
 l:その他殺虫剤 ダニ:殺ダニ剤

※農薬を使用する際は、必ずラベルを確認し、使用方法、希釈倍率を守って使用して下さい。